

福岡県北九州市 ～遊休農地を市民農園として活用～

[地域指定]	-
[農業地域類型]	都市的地域
経営耕地面積	2,055ha
耕作放棄面積	農家153ha 土地持ち非農家314ha

【地域の概要】

北九州市は、野菜の産地と消費地が近いという特色がある。本事業を行った若松区は特に農業が盛んであり、冬キャベツは国の指定産地となっている。

こうした中、市内においては、農業従事者の高齢化、後継者不足等の理由により、耕作放棄地が年々増加した。

【耕作放棄地解消に向けた取組の経緯】

都市住民からは、市民農園整備の要望が以前から挙がっていた。このため、地権者と農業協同組合、行政が協力し、遊休農地解消対策と農業に対する理解を深める場、及び都市と農村との地域間交流の促進する場として市民農園を整備した。

耕作放棄地解消に向けた取組

耕作放棄地解消面積：0.8ヘクタール 取組時期：平成12年度～

市内の遊休農地の状況を調査したところ、まとまった面積を持ち、都心部からの利便性が高い本地区を選定し、計画を策定した。

市民農園開園後、利用率が100%になるなど盛況であり、今後も成功事例の一つとして広く市民へ紹介していきたい。

施行前



施工後

